

エネルギー分野

実施期間

2019年度

実用化開発場所

富岡町

株式会社エコロミ

災害時に24時間 x 7日間の電力供給、平常時にCO₂、電気代削減に貢献するソリューションを実現

事業計画

系統待機型オフグリッド蓄電システムの技術開発



太陽光、蓄電池、LPガス発電機を組み合わせたサステナブル・エナジーソリューション



蓄電池システムは地元産業の支援を視野にリチウム電池のほか、福島で生産された鉛蓄電池をメインに採用



株式会社エコロミ 福島浜通り支店

事業概要

太陽光発電は発電した電力を「売る」よりも「自ら使う」自家消費の時代となりました。自家消費促進の課題である電力の安定供給、蓄電池の低い汎用性を克服するソリューションの実現を目的として、太陽光パネル、蓄電池、自動切替器、制御装置を一体型とした「系統待機型オフグリッド蓄電システム」の技術開発を行いました。

事業化への道のり

技術開発後の製品化を進める中で、脱炭素社会やSDGsなどの社会的な動向、地震や台風などの自然災害による停電の増加で、災害対策として自家消費の重要性は高まりました。しかし、太陽光発電と蓄電池だけでは、天気に左右され太陽光の発電がなく、蓄電池に電気を蓄えられないと電気は使用できません。そんなお客様の不安を解消すべく、太陽光発電、蓄電池にLPガス発電機を加え、太陽光の発電が不足する場合にはLPガス発電機を補助的に稼働させて電力供給をする「サステナブル・エナジーソリューション」を製品化し販売を開始しました。

▶イノベ機構による支援

※福島イノベーション・コスト構想推進機構（イノベ機構）によるイノベ構想関連開発技術の事業化支援（本冊子P.120を参照）

ターゲット市場規模の調査や競合分析等を通じた販売促進策の検討を実施いただきました。現在の実績として、福祉施設のリハビリセンターや物流施設から受注をいただき、HOSPEX Japanへの出展や県内自治体との接点づくりなど、さらなる受注獲得に向けた支援もいただきました。今後もイノベ機構と連携をとりながら、企業や工場だけでなく医療・福祉施設など多方面への供給も視野に入れて普及に取り組んでまいります。

▶今後の展望

長期に安定した電力供給を必要とする避難所や福祉施設、さらに平常時にCO₂削減や電気代削減により、店舗や工場への販売も目指します。販売促進により蓄電池システムの組立工場建設や雇用創出を視野に入れ、浜通り地域の産業復興の後押し、福島県の再生可能エネルギー推進ビジョン達成に貢献できるよう努めてまいります。



代表取締役 小峯充史

株式会社エコロミ

〒101-0054 東京都千代田区神田錦町2-5-1 神田坂田ビル6F(本社)
 〒979-1141 福島県双葉郡富岡町大字上手岡字高津戸348(福島浜通り支店)

創業 2012年7月

従業員 17名

TEL 03-5244-5537(本社) 0240-23-7746(福島浜通り支店)

URL <https://www.ecolomy.co.jp>

